

## 裏の山

福岡県八女市  
八女市立黒木中学校1年

嶋 毅曜

ブロロロ： 朝早くからトラックの音がします。その音は、みかんの木のでいれに行く、おじいちゃん、おばあちゃんが乗った車のエンジンの音でした。家の裏の山でいちごと、みかんを作っています。それ以外にも山には色々なことをしに行っていました。竹の子をとりに行ったり、昆虫を採集しにも行きました。山の畑には、キュウリやトマト、トウモロコシ、キャベツ、ジャガイモなど、色々な野菜を作っています。ですが、山では、色々なことが起こります。車の前にいきなりいのししが出てきたり、歩いていると足元が悪く滑つ

たり、転んだり危ないです。蛇や蚊などの生き物もたくさんいます。

ぼくが初めて山に登ったのは、小学校三年のときでした。そのときは、みかんの収穫でした。山道は、がたがたで、坂だったので、歩いていくのは、とてもきつかったです。けれど初めての山は、空気がおいしくずしかったです。そよ風が吹いたら、とてもすがすがしく、気持ちもよくなりつかれも風といっしょに飛んでゆきました。みかんの木がある所へ着くと収穫を始めました。緑の葉の下に、あざやかなオレンジ色のミカンがなっていました。「プチン」ハサミでヘタを切ると、「ずしっ」と手に乗りました。朝露に日光があたりキラキラ光っていました。プチンップチンッと次々にみかんを収穫しました。一本の木でたくさんの実がなっているので、三十分ぐらいか

かりました。収穫している途中でお父さんが、

「みかん収穫したので、食べていいぞ。」

と言いました。なので、採ったばかりのみかんを皮をむいて食べました。採ったばかりのみかんは、ひんやりと冷たかったです。実は大きく、甘ずっぱくておいしかったです。つかれもよくなり、もう一がんばりと収穫をがんばりました。がんばったので、予定より早く終わったので、近くの畑に行きました。畑には色々な野菜がありました。畑に行ったのは、早く終わったので、野菜も持って帰ろうという、ぼくの考えでした。畑には何にも野菜を植えていない所があったので、

「ここは、何をすると。」

と言うと、おばあちゃんが、

「ここは、キュウリを植えるよ。来

週しちゅうを立てるけんね。」

と言われました。ぼくは、しちゅう立てもがんばろうと思いました。トマトが熟れていたのでトマトを収穫しました。ミニトマトと大きいトマトがあったので両方とも採りました。ミニトマトは小さくてかわいく、大きいトマトは、ずつしりと重かったです。トマトを家に持って帰りました。みかんは、お父さんが車で持って帰りました。帰る途中でまたトマトを食べました。

山では、色々な野菜や果実を作っています。山の天気などで、うまく作れなかったりします。なので大変だとお父さんが話してくれました。でもどんなに大変でもおいしい野菜や果実ができるとうれしいとも言っています。山は色々なことが起こるけど楽しい所だと思いました。